

令和2年度 第1回那賀高等学校 学校運営協議会 協議等の概要

1 日 時

令和2年7月14日（火）午後3時から午後5時まで

2 場 所

那賀高等学校 大研修室

3 学校からの説明

(1) コミュニティ・スクールの概要について

乾校長が、設置要綱及びコミュニティ・スクールの概要について説明した。

(2) 那賀高校の現状について

乾校長が、「学校案内2021」を使い、那賀高校の現状を説明した。

4 協 議

(1) 役員選出について

会長として岡川那賀町教育長、副会長として乾校長が承認された。

(2) 学校経営方針について

乾校長が、令和2年度の学校経営方針について説明し、承認された。

(3) 教育課程の編成について

廣瀬教頭が、令和2年度の教育課程の編成について説明し、承認された。

(4) 学校評価総括評価表について

廣瀬教頭が、令和2年度学校評価計画について説明した。

(5) コミュニティ・スクール導入に伴う新たな取組について

原田教頭が、コミュニティ・スクール導入に伴う新たな取組として、那賀町、徳島大学、そして大塚製薬ワジキ工場との取組についてそれぞれ提案したところ、各委員から前向きで建設的な意見が多数出された。

(6) 各委員からの提言等について

ア 質問

(ア) 森林クリエイト科卒業生の進路について

(イ) 県外生に対する生徒募集及び寮について

(ウ) 森林クリエイト科が設立された目的について

(エ) 教育課程及び本校のコース制について

(オ) 学校運営協議会の方向性について

イ 提言等

- (ア) 連携事業の中で、高校生自身が意見を出し合い動画を制作するなど、それが形として残るような取組をしてほしい。
- (イ) 高校生の気付きを大切にできる活動を、事業体と連携して行っていく必要があるのではないか。
- (ウ) 協議会において、様々な視点から意見を述べることやそういう場を設定することは、大変有意義である。
- (エ) 町としては、各事業体等と学校との橋渡しを積極的に行っていきたい。
- (オ) 地元企業として、高校に協力する形で進路講演会やインターンシップ、卒業生との意見交流会等を、前向きに検討したい。
- (カ) 新野キャンパスの研究施設への見学等については、前向きに検討したい。今後大学全体への要望等については、担当者と打合せをしながら検討していくので、高校にも協力してもらいたい。
- (キ) 本日の学校運営協議会は、手探り状態でのスタートとなったが、互いにそれぞれの実情を知り、お互いが寄り添うことで、回を重ねるたびに協議会の内容を深化させ、「地域とともにある学校づくり」を行っていきたい。

5 その他（事務連絡）

今年度はあと2回、11月と2月に学校運営協議会を開催する予定である。